

社会福祉法人 大館圏域ふくし会

—基本理念—

【破邪顕正】

人は、本来神仏により慈悲・慈愛の心を持ってこの世に誕生する。この法人に集う我々は、この心を以て、我が身の事はさておき、目の前の弱き方、障害を持たれた方達に手を差し伸べることで、社会の奉仕者たらんとする。

—基本方針—

【運営に対する基本方針】

- ・ 特定社会福祉法人としてガバナンス（企業統治）を確保するため内部管理体制の基本方針に基づき法人の経営する第1種社会福祉事業、第2種社会福祉事業並びに公益を目的とする事業の適正な法人運営を行う。
- ・ 地域における社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的に経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図る。

【支援・介護に関する基本方針】

- ・ 福祉サービス利用者に対する的確な情報の提供及び利用者の意向を十分に尊重し、法人全事業所が福祉の原点である利用者本位のサービス体制の確立を目指す。
- ・ 福祉サービス利用者の人権を尊重し、個人の尊厳が守られる福祉サービスの提供を行う。

【地域社会に対する基本方針】

- ・ 法人は福祉サービスについて、地域住民及び社会福祉に関する活動を行う諸機関、関係団体と相互に協力し、地域における社会福祉の増進に努める。
- ・ 災害発生時における福祉避難所として「要配慮者等」の受け入れ先としての機能を果たし地域社会に貢献する取組を行う。

【福祉人材に対する基本方針】

- ・ 良質な福祉人材の採用に向け、様々な広報媒体等を活用する手段を講じる。また、将来の福祉人材育成の視点から福祉の仕事の啓発としての情報発信に取り組む。
- ・ 福祉サービスの継続と発展のために、職員処遇全般の向上、働きがいのある職場づくりに取り組む。

令和6年度事業計画

【運営に関する方針】

- ・ 築40年の建物が法人内に4拠点存在すると云う既存施設の老朽化と、県内の生産労働人口減少による人員不足を踏まえ、最終的に法人が目指す拠点数や事業所数など、法人事業再編の設計図策定に向けて検討を行う。
- ・ 慢性的な人員不足の状況と、市内各生活圈域における人口減少を踏まえ、在宅事業の定員削減若しくは事業の統合などの議論を行う。また、昨年度事業縮小したGHたしろの費用対効果や利用者状況の検証を行い、更なる高齢者GHの再編の必要性を探る。

【支援・介護に関する方針】

- ・ 法人理念である「破邪顕正」の精神のもと、不適切な介護事象や虐待の問題を撲滅し、支援・介護のプロとして自覚を持ち、利用者視点に立った質の高いサービスを提供する。
- ・ 過年度において、利用者への不適切な支援・介護事象があった事を教訓とし、全職員が法令遵守の意識を更に高め、トラブルが小さい内に問題解決する意識を職制職員に醸成させて行く。

【地域社会に対する方針】

- ・ 人口減少社会で働き手も利用される方も少なくなるなかで、法人内の運営協議会や各障害福祉・介護保険サービスの相談事業所が参加する会議で地域のニーズを聞き、出来る限りそれに応えながら地域福祉の向上にも寄与貢献する。
- ・ 業務継続計画(BCP)策定後の自然災害訓練について、事業の継続や福祉避難所としての地域貢献を加えて、拠点単位若しくは大館市と総合的に訓練を行う。

【福祉人材に対する方針】

- ・ 4つある処遇改善加算統合後の職場環境要件を満たすための、厚労省が示す生産性ガイドラインに基づく業務改善活動の体制構築、現場の課題の見える化等の取り組みを全拠点で行う。
- ・ 法人の財産である職員について、定年65歳後の70歳までの就業機会確保に向けた取り組み、給料の諸手当に関する検討、就業形態の見直しなど、職場環境改善のための行動を行う。

本年度も役職員一丸となり、地域の皆様から支持され選ばれる社会福祉法人であり続けるために精進してまいります。

令和6年4月1日

社会福祉法人 大館圏域ふくし会
理事長 畠澤政一